

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 10 月 8 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3870103755		
法人名	有限会社 三光資産		
事業所名	グループホーム さんこう		
所在地	松山市南土居町131-1	(電話) 089-975-3300	
管理者	村上 健太郎		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 8 月 25 日	評価確定日	平成 20 年 10 月 7 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 8 月 1 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 1 月 5 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 9 人, 非常勤 8 人, 常勤換算 8 人	

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	38,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有( )円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	200 円	昼食 500 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

### (3) 利用者の概要 (平成 20 年 8 月 1 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 8 名	女性 10 名
要介護 1	3 名	要介護 2	6 名
要介護 3	4 名	要介護 4	2 名
要介護 5	3 名	要支援 2	名
年齢	平均 82 歳	最低 66 歳	最高 96 歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

遠くの美しい山々を眺める田畑の中の広い敷地に、2階建てのホームがある。開設して4年半が経過し、散歩や買い物、行事での交流、運営推進会議の開催等、地域とのつながりの蓄積ができてきている。ここ一年は職員の異動も少なく、利用者共々落ち着いた生活を送っている。職員は楽しく・明るくをモットーに、日々のケアの実践に取り組んでいる。ホーム内はゆったりとしており、居心地の良い雰囲気がある。管理者を中心に評価や見直しを続けながら、さらなる質の向上に取り組んでいる。

## 【質向上への取組状況】

### ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

地域との関わりについては、近隣住民との交流に努め、ご近所付き合いは進んできている。季節ごとの行事や飾りを取り入れ、季節感をさらに取り入れるよう工夫している。家族の意見の申し立てについては、外部の申立先を明示して説明したり、パンフレットを作成するなどしている。

### ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

管理者及びリーダーで自己評価を行い、話し合って評価票を作成している。リーダーは自己評価をすることでケアの振り返りとなっていると感じており、課題を発見して取り組むことができてきているが、全職員に徹底できているとは言えない。

### ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

行政、地域住民、家族等には、ホームの現状や課題、取り組み等を知っていただき、理解や協力を得やすくなっており、スムーズに運営できるようになってきている。参加メンバーがより多様になることで人間関係が広がり、より内容の充実につながると思われるため、メンバー構成や運営方法に検討を期待する。

### ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

家族の来訪が多いため直接話し合う機会を持ちやすく、さらに電話や手紙、写真でも生活ぶりを伝えており、コミュニケーションは十分取れている。意見は職員を始め内部の苦情担当者、外部の苦情相談窓口等を明示して説明している。また、苦情解決委員会・苦情解決第三者委員も設置している。

### ▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

運営推進会議や行事への参加を重ねることで地域の方との繋がりができており、地域の情報も積み重ねつつある。また、個々の付き合いも大切にして楽しんでいる。ホームとして、地域での役割も果たしつつ、利用者が主役となる取り組みが可能であるかが今後の課題となっている。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームさんこう

(ユニット名)

一階

記入者(管理者)

氏名

村上 健太郎

評価完了日

平成 20 年 8 月 1 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 気持ちいいをテーマにパンフレット作成し、広報している。また独自の理念があり、スタッフにも説明している。  (外部評価) 職員全員で検討を続けており、本人が地域とのつながりを持ちつつ、その人らしく暮らし続けていく理念を大切にしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 採用後、理念の説明行い、日々の仕事や会議の時等に用いて再確認に努めている。  (外部評価) 理念を目に触れる場所に掲示し、実践に活かせるよう取り組んでいる。また、ユニット毎で職員個々に目標・目的を掲げ、お互いに尊重している。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 人として普通に接して頂けるようお話しさせて頂き、理解、支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 野菜や花を頂くこともあり、気軽な訪問がある。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 散歩の際、地域の方々との会話や夏祭り、秋祭りなど参加し、交流が出来ている。  (外部評価) 地域行事等に積極的に参加し、町内会にも加入して地域の情報を得ている。運営推進会議を通じて、ホームでの食事会や見学、相談や話し合いでより理解が深まり、つながりも進んでいる。また、散歩や買い物等で外出した際の会話やご近所の方からの作物の差し入れなどの機会を大切にしている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 町内会への参加行い、見学に来られた際などの相談対応も出来ており、また災害時の避難所にもなっている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価をスタッフに伝え、話し合いを行い、改善必要な時には早急な対応が出来ている。  (外部評価) 管理者は評価の意義を理解しており、具体的な改善に向けて取り組む意向があるが、今回は管理者を含むリーダー職員で自己評価を行っている。	※	全職員で評価の意義を再確認した上で自己評価を実施し、具体的な改善に全職員で取り組むことを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 意見の交換も出来ており、日々に活かしている。  (外部評価) 会議での意見や提案を職員で検討し、積極的に取り入れている。また、ホームへの理解を深めるための情報提供も行っている。	※	サービスの質を向上していく上で重要な会議と捉えており、活発な会となるよう努力しているが、より効果的に運営するために、メンバー構成や会議の案内方法等の再検討を期待する。また、会議録のとり方や資料等にもさらなる工夫を期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) さまざまな機関(松山市、町内会、地域包括支援センターなど)との連携確立、情報収集も出来ている。  (外部評価) 運営推進会議に参加してもらい、現場の実情を見た上での意見交換ができています。また、必要時には報告、連絡等しており、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の 必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 制度について勉強会もあり、活用支援出来ている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会もあり、高齢者虐待について日々スタッフ間で、 気をつけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に十分な説明行っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 何でも話せる雰囲気を作り、雑談や色々な会話の中から聞き出し、会議やご家族との意見交換にて、穏やかな生活の提供に努力している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 健康状態については、異常あればすぐに連絡させて頂き、対応出来ている。金銭管理については相談にて、個人管理または立て替えとし、施設内情報については個々に報告させて頂いている。 <hr/> (外部評価) 家族の来訪は多く、来訪時には必ず職員から声をかけて報告や情報交換をしており、また変化がある時や必要な時にはその都度報告、相談している。また、月1回の請求書等送付時にも写真や手紙を同封している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 契約時に苦情窓口の説明も出来ており、ご家族より意見あった場合速やかに検討、反映出来ている。 <hr/> (外部評価) 家族の意見や要望には早急に対応し、職員で検討している。また、意見や苦情相談の受付については、ホーム内・外の連絡先を契約時に説明し、玄関にはパンフレットを置いており、さらに苦情解決第三者委員も設置している。より意見を表出しやすくなるよう、本人及び家族と職員との信頼関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日々意見交換などを行い、素早く対応を行い、反映出来るようにしている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 日中3人で従事しており、必要に応じて4人の時もあり調整している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 全ての職員が入居者様と馴染みの関係を持つように勤めており、異動や離職に柔軟に対応が出来る。  (外部評価) この1年位は職員の異動も少なく、落ち着いた環境で生活できている。馴染みの関係ができていた職員の退職時はさりげなく引き継ぎ、ケアの継続を大切にしている。職員が入替わるときは引継ぎや教育等の時間と手間をかけている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 未経験者には、教育プログラムをたて指導しており、段階に応じた研修や興味のある研修など積極的に参加出来ている。  (外部評価) 管理者は、段階に応じて研修を受けられるよう配慮しているが、勤務の都合等もあり、十分とは言えない。研修の情報はできるだけ伝え、内容によっては研修費用を負担して、参加を働きかけている。介護経験の無い職員には研修期間を3か月程度設けたり、資格取得を推進するなどしている。また、毎月のカンファレンス時にも研修の機会を設けるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 同業者との交流もあり、サービスの質の向上に役立てている。  (外部評価) 近隣のグループホーム等と、勉強会などを通じて交流を始めている。また、グループホームだけでなく他職種・他事業所等との交流を通じて、相互のサービスの質の向上に取り組んでいる。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 休憩時間ゆっくり出来る場所があり、ストレスをため込まないように職員間でカバー出来ている。また食事会などもある。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 定期的な会議にて各自の目標再確認しあい、向上につなげている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 馴染んで頂けるように、笑顔で穏やかな対応を心掛け、話しやすい雰囲気作りに努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居までに何度か面談させて頂き、納得安心して頂けるように努めている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談内容を見極め、他種機関のサービス提供や利用も出ている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 無理強いすることなく、安心してサービスが受けられるように相談しながら少しずつ進めている。  (外部評価) 本人や家族に訪問してもらい、お茶やレクリエーションに参加することで馴染めるように配慮している。急な利用の場合は家族の協力を得ながら、不安材料を取り除く関わりに努めることで、安心できる環境を整えるようにしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日々ゆったりとした時間の中で、寄り添う事で信頼関係を築き、その中から昔話や昔の知恵を聞くことも出ている。  (外部評価) ゆったりした時間の中で信頼関係を築き、人生の先輩としての関わりを基本姿勢として、職員は共に生活している。利用者それぞれに、できること、どの程度援助すればいいのか、などを見極め、職員間で情報交換して共有している。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日々様子を具体的に話させて頂き、信頼関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご本人、ご家族よりそれぞれ情報を集め、支援出来ている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 手紙のやり取りや、面会、外出などもある。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員が仲立ち行い、利用者が孤立、対立しないように努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 電話連絡や訪問などにて関係の継続に努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常の会話の中から聞き出し、困難な方についてはご本人の立場にたち、把握検討している。  (外部評価) 職員は、共に生活する中で利用者の思いや希望を把握している。また、家族から情報をもらうだけでなく、家族にホームで把握した情報を返していくことで情報がより深まり、ケアに役立っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) サマリーや、ご本人ご家族よりの生活歴情報をもとに生活リズムを出来る限り崩さないように努め、また生活の中で新たな情報の把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々の様子やバイタル健康管理にて判断させて頂いている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 必要関係者とはその時々話し合う事が出来ており、定期的な会議にて介護計画の作成が出来ている。  (外部評価) 本人や家族の意向を反映させるように努めている。また、職員間でカンファレンスをして計画を評価し、次の計画に活かしている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 見直し必要な場合には、早急な対応にて新たな計画の作成が出来ている。  (外部評価) 月1回カンファレンスを開催して計画を評価し、3～6か月毎に見直している。また、変化がある時はその都度見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別の記録があり、必要に応じて細かく記録も取れている。また必要に応じて気付きノートの活用もある。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) ご本人やご家族の希望に応じて、マッサージを受けられる様に手配したり、かかりつけ医院への通院などおこなっている  (外部評価) 希望の医療機関への通院、理美容院の利用、墓参り、友人宅への来訪、自宅への帰宅など、本人及び家族の要望には柔軟に対応する姿勢で支援している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 安全確保の点で、警察、消防など多様に協力して頂いている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要に応じて、他事業所よりサービス支援頂けている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要に応じて、協働支援頂けている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ご本人ご家族の希望を重視し、かかりつけの歯科医の往診など、支援出来ている。  (外部評価) 希望する医療機関での受診を支援しているが、協力医療機関との連携は取れている。必要があれば、より専門的な他の医療機関で適切な医療を受けることもある。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力病院に認知症の病棟及び、専門医師がおり受診相談が出来ている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 協力病院の定期的な往診や、担当看護師のみの訪問もあり、健康管理や医療について気軽に相談させて頂いている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 協力病院入院の受け入れがあり、看護計画にて治療方法の詳しい説明や情報相談を受け、早期退院に努めている。また、他病院であっても同様である。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ご本人ご家族の気持ちや考えを重視して、重度化、終末期に向かう以前から方針の共有をさせて頂いている。また重度化などについて、毎月のスタッフ会議で話し合いを行っている。  (外部評価) 予測される早い段階で本人、家族、医師等と話し合っている。時々気持ちの変化を予測し、度々話し合っている。意思を確認することの必要性を理解している。ホームでは終末期を経験していない職員が多く、指針を基に具体的に毎月のスタッフ会議で検討している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化や終末期の支援について、話し合いなど行い、対応準備出来ている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 十分な情報交換にて、混乱を防ぐよう努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 職員採用時、個人情報の取り扱いと秘密保持について説明している。また常に尊敬、労いの念を持ち対応している。記録に関しても個人の記入にて、他者書き込みが必要な場合にはアルファベットにて表示している。  (外部評価) 常に尊敬と労いの念を持って言動に注意して対応しており、また記録類は事務室で適切に保管し、メモはシュレッダーにかけるなど、個人情報の保護に努めている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 職員誰にでも、どんな事でも話せる雰囲気を作り、傾聴、多様な説明出来ており、検討必要な場合には早急な話し合いにて支援出来ている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その日の体調や、ご本人の気持ちを尊重し、起床時間を個別に対応する等、柔軟な対応に努めている。  (外部評価) ホームとして基本的な一日の流れはあるが、個人の体調や思いを尊重して柔軟に対応している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 当施設に出張して頂いている。またはご家族同行にて馴染みの店に出かけられている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 衛生面の危惧もあるが、出来る範囲で野菜の皮むき等、お手伝い頂けており、食事の際は、ゆったりとした時間にて摂取して頂けている。  (外部評価) 毎日、業者から食材と献立付調理手順が届いており、準備や片付け等できる人は役割を担ってもらうようにしている。おやつ、寿司作りなどは喜ばれている。嚥下状態のよくない方には柔らかくする、刻む、トロミをつけるなど、個々にあった工夫をしている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 健康配慮し、医師相談にてお酒は甘酒程度、喫煙される方はおらず、おやつについても出来る限り手作りし、飲み物も色々な物を用意し楽しんで頂けている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンをつかみ、自然な声かけ、誘導にて支援出来ている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 混乱防止、安全を考え、曜日と時間を決めさせて頂いているが、入浴剤使用にて、ゆっくり入浴を楽しんで頂いている。  (外部評価) 週2回程度の入浴を計画しているが、シャワーは毎日何時でも対応可能で、利用者の希望に沿うように努めている。入浴は利用者とのコミュニケーションを図り、心身の安楽にも良い機会となるため、ゆっくりとした対応に努めている。入浴を嫌がる方には個別に対応を工夫して、声のかけ方や誘導のタイミング等について職員間で情報交換している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 生活習慣や、体調に合わせて日中でも、休んで頂いている。夜間は常夜灯使用、声かけにて安眠頂いている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 生活歴や会話から好きなこと、出来ることを探し出し、役割や楽しみにつなげ、張り合いを持って頂けるように支援出来ている。  (外部評価) 一人ひとりの生活歴や会話から、役割や楽しみごとなどに結びつけるよう支援している。把握した情報を職員間で共有し、より充実した生活となるよう、職員から感謝や喜びの言動を表現している。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物に出かけた際、理解されている方にはご自分で精算して頂くよう支援している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 希望だけでなく、外気浴、散歩など働きかけ、外気に触れ、日々の変化等を感じて頂けるように努めている。  (外部評価) 希望、体調、気候等を考慮しながら近所の散歩や庭での日光浴等を行っており、日常的に季節や外気を感じられるよう配慮している。時には動物園、喫茶店、花見、買い物、ドライブ等に出かけている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 個別、ご家族の協力にて外出の機会がある。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話連絡にて関係維持出来ている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) ご家族、友人の方など、気軽に訪問して下さり、ホールや居室にてゆっくり談笑頂けている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 基本考えに拘束禁止があり、拘束のないケアに取り組んでいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 一人にしない、閉じ込めない、を考え施錠行っていない。夜間のみ玄関施錠している。  (外部評価) 日中は玄関の鍵はかけず自由に出入りできるようにしており、一人ひとりのその時々行動を把握しながらさりげなく見守り、支援している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 昼夜を通し、所在や様子の確認出来ている。夜間については、1時間ごとの巡視行っている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 取り扱いや保管場所の徹底出来ている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 個々のレベルや先の危険について、日々共有指導取り組んでいる。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的な訓練の実施があり、緊急対応のマニュアルが目につく所に設置してある。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署より定期的な指導訓練があり、当施設は災害時避難所の指定を受けており、地域の方との協力や避難訓練など出来ている。  (外部評価) 年2回、消防署の協力を得ながら定期的に避難訓練を実施しているが、夜間を想定した訓練はまだ実施していない。当ホームは災害時の避難所の指定を受けており、地下水、電気類、備蓄等の検討もしている。地域との協力体制はできており、避難訓練も実施している。	※	地域との協力体制は検討されているが、訓練を積み重ねてさらに具体的なものとなるよう取り組みを継続することを期待する。また、夜間を想定した訓練にも取り組み、ホームが災害時に対応できる状況について地域に広報することも期待したい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 契約時リスクについても、具体的に説明させて頂き、理解納得頂けている。生活上、リスク出現あれば早急な話し合いにて対応出来ている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調の変化については速やかな報告にて、速やかな対応が出来ている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々の薬ファイルが用意しており、確認理解出来ている。内服変更時には、症状の変化に十分に気をつけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 多様な飲食物や乳製品の使用を心掛けており、腹部マッサージや身体を動かすように、働きかけ出来ている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケア出来ており、力に応じて介助支援出来ている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 多様な食品使用にて、栄養のバランス配慮し、提供形態や水分量も気をつけている。必要に応じて水分、排泄チェックを支援している。  (外部評価) メニューは専門の業者の栄養士が作成している。食事及び水分摂取量、摂取状況等を記録に残し、体調や体重のチェックと共に見直している。おやつの時なども利用して、適切な水分摂取に努めている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症に対するマニュアルがあり、日々さまざまな事に予防努力している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理器具は乾燥機使用し、まな板、布巾など毎日塩素系漂白剤使用し、細かい掃除にて衛生管理に努めている。 食材については、現在毎日の配達を受けている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 建物の外装は華美でなく、玄関周りには植木鉢など草花の配置があり家庭的な雰囲気がある。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共用スペースは、ゆったり広々取ってあり外光や風通しも良く作られている。  (外部評価) 採光や風通しが良い、ゆったりした敷地にあるホームのため、窓からの自然の風景や音で季節感を味わうことができる。トイレ、浴室、洗濯室、廊下等の使い勝手もよく、手すりも配置されている。広いソファのコーナーもあり、思い思いの場所で落ち着いて過ごしている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファやテーブルの配置に工夫し、居場所作りに努力している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れた物の持込や、ご家族よりの提供にて、居心地よく安心して生活頂けるように努力している。  (外部評価) 仏壇、テレビ、家族の写真、机、収納家具、趣味の作品等を個性的に配置しており、利用者ごとの個性を感じられる居室となっている。居室入り口にも暖簾や目印となる表示を工夫している。家族の協力を得ながら季節の衣類の交換や押入れの整理等もしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 建物内24時間空気の換気、清浄機の使用があり、温度計や湿度計も設置している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 内部の配置については安全配慮し、手すりやポールの設置にて、自立支援に努めている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室の表札や大きなカレンダー、見やすい時計など工夫しており、混乱や失敗時には、笑顔で穏やかな声かけにて、対応している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 裏庭やベランダにも、花や野菜が植えてあり、草取り水撒きなど、お手伝い頂け日光浴も楽しまれている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々の会話より聞き出した情報を気付きノートに書き込み、スタッフ間で共有し、またインタビューにて把握出来ている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	ホールが広々としており、休める場所がありゆっくりした時間の中で、共に過ごさせている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個々のレベルや、生活リズムを大切に援助させて頂いている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	時に帰宅願望や不安感の訴えみられるも、会話にて落ち着かれ笑顔見られている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個々のレベルや、意思表示に難しい事もあるが、体調考慮にて努力できている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々健康管理にて、異常、異変には速やかに対応出来ており、不安の消失に努めている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	要望や様々な訴え時には、柔軟な対応にて安心頂けている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	施設代表や責任者が、ご家族とは出来る限り連絡を取らせて頂いており、訪問の際には、スタッフとの会話の時間も持っています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③ たまに 4 ほとんどない	地域の方の見学や、農作物を頂く事がある。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	日頃より連絡は取らせて頂いているが、会議にて更にご理解頂けている。
98	職員は、生き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	前向きな考えで、日々笑顔で従事出来ている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	生活面において苦情を聞く事がなく、穏やかに生活頂けている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	上記同様にて、苦情を聞く事がなく、満足頂けている。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

介護理念を基本指針として、グループホームでの生活が、我が家以上に気持ち良く穏やかに、楽しめる生活が出来るように支援する。個々のあるがままを受け入れ、尊敬の念を持ち、急激なレベルの低下を防ぎ、体調の変化を見逃さず、先の危険防止やどのようにすれば生活を楽しんで頂けるかなど日々努力しています。



(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームさんこう

(ユニット名)

2階

記入者(管理者)

氏名

村上 健太郎

評価完了日

平成 20 年 8 月 1 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 個々の尊厳を大切にし、利用者の地域参加や地域住民との交流を通し、地域社会との繋がりを感じられる理念を作り上げている。  (外部評価) 職員全員で検討を続けており、本人が地域とのつながりを持ちつつ、その人らしく暮らしていく理念を大切にしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 日々の申し送りやミーティング時、またその日の関わりの振り返りの時も理念に基づいた確認や話し合いができています。  (外部評価) 理念を目に触れる場所に掲示し、実践に活かせるよう取り組んでいる。また、ユニット毎で職員個々に目標・目的を掲げ、お互いに尊重している。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) ご家族には訪問時に、地域住民に対しては地域との会合や地域行事の参加時他、機会があるごとに取り組みについて説明している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日常の散歩や外出時には気軽にあいさつを交わしている。利用者が畑の作物について農家の方と会話をする場面も見られる。また、花を頂いたりする関係も築かれている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の夏祭りではかき氷等を頂きながら盆踊りを楽しみ、秋祭りでは神輿や獅子舞を見ながら地域の方と交流を深めている。その他、いのこなど大人だけでなく、子供との交流にも努めている。  (外部評価) 地域行事等に積極的に参加し、町内会にも加入して地域の情報を得ている。運営推進会議を通じて、ホームでの食事会や見学、相談や話し合いでより理解が深まり、つながりも進んでいる。また、散歩や買い物等で外出した際の会話やご近所の方からの作物の差し入れなどの機会を大切にしている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域での研修や講習にも参加し、地域のお年寄りの現状の把握に努めたり、日頃から地域住民からの相談も受けている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価の結果はミーティングで報告し、自己評価と外部評価との認識の差異の確認を行い、改善に向けての具体的な話し合いを職員全員で取り組み質の向上に努めている。  (外部評価) 管理者は評価の意義を理解しており、具体的な改善に向けて取り組む意向があるが、今回は管理者を含みリーダー職員で自己評価を行っている。	※	全職員で評価の意義を再確認した上で自己評価を実施し、具体的な改善に全職員で取り組むことを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 一方的な報告や説明の場にならないよう心がけ、率直な意見が出し合えるよう配慮している。その都度、頂いた意見を基に質の向上を図っている。		
			(外部評価) 会議での意見や提案を職員で検討し、積極的に取り入れている。また、ホームへの理解を深めるための情報提供も行っている。	※	サービスの質を向上していく上で重要な会議と捉えており、活発な会となるよう努力しているが、より効果的に運営するために、メンバー構成や会議の案内方法等の再検討を期待する。また、会議録のとり方や資料等にもさらなる工夫を期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) いつでも連絡や協議をしながら、素早く適切に問題解決を図るよう体制をとっている。		
			(外部評価) 運営推進会議に参加してもらい、現場の実情を見た上での意見交換ができています。また、必要時には報告、連絡等しており、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 機会あるごとに職員への説明を行っており、必要な場合はすぐに支援できる体制をとっている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修会やミーティングを通して日頃から虐待防止に対する意識を高めている。また、家族の方にもできる限り訪問していただき、閉鎖的な虐待を生むような環境にならないよう注意を払っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時や契約解除の際には、時間を十分かけて納得するまで説明、話し合いを行い、利用者や家族等が不利益にならないよう手続きを行っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 常に利用者よりの意見・不満・苦情を傾聴し素早く対応している。また気づきノート等への記録を通して全員で話し合い問題解決を図り、運営に反映させている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 個々の入居者、家族等の状況に応じて来訪された際や電話等で心身の状況の変化を報告している。その他問題が生じた場合以外でも、できるだけきめ細かい報告を行っている。  (外部評価) 家族の来訪は多く、来訪時には必ず職員から声をかけて報告や情報交換をしており、また変化がある時や必要な時にはその都度報告、相談している。また、月1回の請求書等送付時にも写真や手紙を同封している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 訪問時には、意見・不満・苦情等が表せ易いよう笑顔で対応し話しやすい場面作りを行っている。また、電話でもこちらからの問いかけを心がけ意見・不満・苦情の言い易い雰囲気作りを行っている。そこで得た情報を基に皆で話し合い、対応している。  (外部評価) 家族の意見や要望には早急に対応し、職員で検討している。また、意見や苦情相談の受付については、ホーム内・外の連絡先を契約時に説明し、玄関にはパンフレットを置いており、さらに苦情解決第三者委員も設置している。より意見を表出しやすくなるよう、本人及び家族と職員との信頼関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月のケアカンファレンスやミーティング時に職員の意見を聞くようにしている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 状況に合わせた勤務体制が取れており、職員の急な欠勤にも対応できるよう人員確保、スケジュール管理ができています。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の異動や離職等による心理的な影響が最小で収まるよう十分配慮し声かけを行い、馴染みの関係を築くことを優先するような職員配置を行っている。  (外部評価) この1年位は職員の異動も少なく、落ち着いた環境で生活できている。馴染みの関係ができていない職員の退職時はさりげなく引き継ぎ、ケアの継続を大切にしている。職員が入れ替わる時は引継ぎや教育等の時間と手間をかけている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 正社員だけでなく、パート社員にも積極的に他の事業者や行政の勉強会や研修に参加してもらっている。  (外部評価) 管理者は、段階に応じて研修を受けられるよう配慮しているが、勤務の都合等もあり、十分とは言えない。研修の情報はできるだけ伝え、内容によっては研修費用を負担して、参加を働きかけている。介護経験の無い職員には研修期間を3か月程度設けたり、資格取得を推進するなどしている。また、毎月のカンファレンス時にも研修の機会を設けるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 同業者とは交流の機会がとれており、常に連携も取れ協働しながら質の向上に取り組んでいる。  (外部評価) 近隣のグループホーム等と、勉強会などを通じて交流を始めている。また、グループホームだけでなく他職種・他事業所等との交流を通じて、相互のサービスの質の向上に取り組んでいる。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 毎日の休憩時間には短時間でも職員や利用者から完全に離れ、気分転換が図れるよう休憩の場を確保している。また、日々の職員とのコミュニケーションから個々の悩みやストレスを把握するよう努め、その要因を取り除いたり緩和するよう配慮している。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職員一人ひとりが健康的に向上心を持ち、やりがいを感じながら働けるよう職場環境や労働条件を配慮している。職員の資格取得にも積極的に支援している。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 先ず、本人より訴えや話しを十分に傾聴し、思いや希望を把握し安心してサービスの利用ができるよう信頼関係づくりに努力している。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 本人の思い、家族の思いそれぞれを理解し受け止めるよう、話しを十分に聞いている。また、家族の困っていることや不安について状況を把握し信頼関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時、本人や家族の状況等を確認し必要なサービスが受けられるよう柔軟な対応を行い、必要ならば他事業者との相談やサービス利用等の連携をとっている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 当事業所の雰囲気になじみ利用ができるよう、事前に本人・家族に事業所の見学をして頂いている。又、本人・家族が時間が取れる場合、利用者と共にお茶を飲まれたりレクリエーションに参加して頂いている。  (外部評価) 本人や家族に訪問してもらい、お茶やレクリエーションに参加することで馴染めるように配慮している。急な利用の場合は家族の協力を得ながら、不安材料を取り除く関わりに努めることで、安心できる環境を整えるようにしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者と一緒に生活しながら、人生の先輩という尊敬の念を持ち学ばせていただいているという姿勢で利用者とは接している。職員と利用者は毎日のふれあいの中で不安や悩み苦しみ等を言える関係であり、共に共感、理解し合える関係である。  (外部評価) ゆったりした時間の中で信頼関係を築き、人生の先輩としての関わりを基本姿勢として、職員は共に生活している。利用者それぞれに、できること、どの程度援助すればできるのか、などを見極め、職員間で情報交換して共有している。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 訪問された際、家族の話に傾聴。本人の日頃の楽しいエピソードなどを話し家族の苦しみや悩みを受け止め、一緒になって本人を支えていけるよう関係を築いている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人と家族との関係を理解し、たとえ遠方でも疎遠にならないよう働きかけている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人のなじみの場所、友人、美容院、歯医者、病院とも関係が途切れないように家族を通して交流できるよう支援している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 毎日の食事や午前・午後のおやつ時に職員も一緒に過ごし、会話の中から利用者同士の関係の理解を深めるとともに、間に入って利用者同士のコミュニケーションが取れ合うよう支援し特定の利用者の孤立を生まないよう努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービス利用終了後も家族との連絡を取り合いながら関係を続け、必要であれば再度のサービス利用の相談にも対応している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 些細な変化にも目を配り、日々の関わりの中で把握に努めている。意思疎通の困難な方には家族から情報を得るよう努め、本人にとって何が最善な暮らしなのかを家族を交えて検討しているまた、スタッフ間で情報を共有し、より良い介護を目指している。  (外部評価) 職員は、共に生活する中で利用者の思いや希望を把握している。また、家族から情報をもらうだけでなく、家族にホームで把握した情報を返していくことで情報がより深まり、ケアに役立っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用前や利用直後は、当事業所を利用するに至った経過やそれまでの生活歴について本人や家族等より聞きとっていき、利用者についての把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々の会話や関わりの中から本人の生活のリズムや暮らし方について申し送りや気づき等を利用しながら把握に努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 普段の会話の中から本人の思いや意向を掴み取り、それを基にご家族の希望を取り入れながら十分な話し合いを行い利用者主体の介護計画の作成を行っている。  (外部評価) 本人や家族の意向を反映させるように努めている。また、職員間でカンファレンスをして計画を評価し、次の計画に活かしている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 常に介護計画の評価は行っており、状態変化時は家族に報告し必要に応じ見直しを行い現状に即したプランになるよう努めている。  (外部評価) 月1回カンファレンスを開催して計画を評価し、3～6か月毎に見直している。また、変化がある時はその都度見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) ケアプランに沿った介護記録を行うようにし、日々の食事、水分、排泄の記録だけでなく、本人の会話や職員の対応・会話等も記録し、情報の共有を行っていくことで職員の経験に関係なく同じ対応が取れるよう努めている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人や家族の状況に応じ、通院や送迎等必要な支援を柔軟に対応している。また、緊急の受診や入院にも医療連携体制を活かし対応している。  (外部評価) 希望の医療機関への通院、理美容院の利用、墓参り、友人宅への来訪、自宅への帰宅など、本人及び家族の要望には柔軟に対応する姿勢で支援している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 必要に応じ民生委員や警察、消防等協力し合えており、安心して生活が送れるよう支援している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 利用者の状況や希望に応じて、訪問マッサージや訪問理容、配食サービス等のサービスを利用してもらっている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議をきっかけに、地域包括センターとは関係が強化されている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力病院とは別に、本人や家族等の希望に応じ馴染みの歯科医などかかりつけ医を利用している。  (外部評価) 希望する医療機関での受診を支援しているが、協力医療機関との連携は取れている。必要があれば、より専門的な他の医療機関で適切な医療を受けることもある。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 提携医療機関に脳神経外科があり認知症に関する診断や相談がいつでも受けれる体制ができています。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 提携医療機関を通して看護師とも契約を行っており、常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行っている。また、緊急の場合等は24時間相談、受け入れができるよう連携をとっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時は家族や病院と情報交換をしながら、事業者内での対応可能な段階でなるべく早く退院できるようにしている。点滴等も、できるだけ利用者の負担にならないよう訪問にて対応することもある。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 早期から関係者と話し合いを十分に繰り返し行い、重度化した場合、事業所での最大の支援方法を本人や家族に説明し理解していただいている。職員にも方針を説明し、全員で取り組んでいる。  (外部評価) 予測される早い段階で本人、家族、医師等と話し合っている。時々気持ちの変化を予測し、度々話し合っている。意思を確認することの必要性を理解している。ホームでは終末期を経験していない職員が多く、指針を基に具体的に毎月のスタッフ会議で検討している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人の状況や家族の意向を十分に考慮して、安心して暮らせるよう職員は理解し関わっている。また、急変の場合には、すぐに対応していただけるよう提携医療機関とも連携を図っている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の事業所に移られた場合は、利用者の環境や暮らしの変化による心理的、肉体的負担が最小限になるようできるだけ細かく情報提供を行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 普段の関わりや記録等において、プライバシーを損ねるようなことがないよう、職員には言葉遣いや対応に常に細心の注意を払うよう徹底している。メモは全てシュレッダーにかけている。  (外部評価) 常に尊敬と労いの念を持って言動に注意して対応しており、また記録類は事務室で適切に保管し、メモはシュレッダーにかけるなど、個人情報の保護に努めている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 何か行動を起こす場合でも、必ず利用者の意思を確認してから行うようにしている。また、意思表示困難な方でも声かけを行い表情や体の動きから意思を確認し、できるだけ本人に決めていただくよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 大体の流れは決めているが、体調やご本人の希望に沿って食事・おやつの時間、日々の過ごし方等柔軟に対応している。  (外部評価) ホームとして基本的な一日の流れはあるが、個人の体調や思いを尊重して柔軟に対応している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 更衣時意思表示できる方には、本人に着る服を決めてもらっている。意思表示出来ない方には職員が季節に応じた衣服を選び、モーニングケアを行い身だしなみを整えて差し上げている。なじみの美容院も利用していただいたり、希望があればヘアカラーや自由に化粧もしていただいている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 毎日業者より食材が届き栄養バランスの摂れたメニューになっている。おやつは職員と利用者が一緒に手作りをしたり、誕生日には寿司を作り喜ばれている。食事前後の準備や片付け、料理の下ごしらえもスタッフと一緒に楽しみながら行っている。  (外部評価) 毎日、業者から食材と献立付調理手順が届いており、準備や片付け等できる人は役割を担ってもらうようにしている。おやつ、寿司作りなどは喜ばれている。嚥下状態のよくない方には柔らかくする、刻む、トロミをつけるなど、個々にあった工夫をしている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ご家族に協力して頂き本人の好む飲み物や果物、お菓子、パン等の嗜好物を他の利用者に配慮しながら、個人で楽しめるよう考慮している。居室内に冷蔵庫を置かれている方もいる。賞味期限は常に職員がチェックして不衛生にならないようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) できる力を維持していくためにも、本人の排泄パターンに沿ったトイレの使用を介助している。また、本人の希望に合わせて行きたい時に行けるよう支援している。オムツであっても、本人訴えあればトイレ誘導を行っている。排泄の失敗の際にも声かけを行い、ご本人が落ち込むことの無いようにしている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴を嫌がったり拒む人に対しては、柔軟に別の日に変更したり、スタッフ間でうまく連携し合い、声かけの仕方やタイミングを変えたりして無理なく入浴をして頂いている。現在半数以上の方が特別浴槽を使用している。皆様入浴を楽しみにしておられ、入浴後笑顔多く見られている。 <hr/> (外部評価) 週2回程度の入浴を計画しているが、シャワーは毎日何時でも対応可能で、利用者の希望に沿うように努めている。入浴は利用者とのコミュニケーションを図り、心身の安楽にも良い機会となるため、ゆっくりとした対応に努めている。入浴を嫌がる方には個別に対応を工夫して、声のかけ方や誘導のタイミング等について職員間で情報交換している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中できるだけ活動を促して体を動かして頂いたり、無理な利用者には日光浴だけでもしていただき、夜間、気持ちよく安眠していただけるよう支援している。また、夕方から不穏になられる方にも、声かけに気をつけながら不穏の原因を取り除くよう関わりを持ち安心感を与えるよう工夫して行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) オセロ・将棋・パズル等それぞれ楽しまれている。また、モップかけ、テーブル拭き、野菜の皮むき、洗濯物たたみ他、一人ひとりができること、得意とする分野で力を発揮していただいている。 <hr/> (外部評価) 一人ひとりの生活歴や会話から、役割や楽しみごとなどに結びつけるよう支援している。把握した情報を職員間で共有し、より充実した生活となるよう、職員から感謝や喜びの言動を表現している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族の希望や本人の能力に合わせてお金は所持している。買い物には、職員または家族が同行し買いたい物を相談しながら買われている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの体調や希望を考慮し、近くへの散歩や庭での日光浴を行い季節を感じて頂いている。また、車でドライブや買い物にも出かけている。  (外部評価) 希望、体調、気候等を考慮しながら近所の散歩や庭での日光浴等を行っており、日常的に季節や外気を感じられるよう配慮している。時には動物園、喫茶店、花見、買い物、ドライブ等に出かけている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 職員だけでなくご家族の協力を得て、家族と共になじみの場所や普段行けない所へ出かけて行ける機会を多く作っている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族との手紙や電話にはご家族の希望をお聞きし、可能な限り本人自らができるように支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 訪問の時間も特に設けてなく、いつでも気軽な訪問ができるよう支援している。また、気兼ねなく過ごして頂けるようホールでお茶を飲まれたり、居室で談笑されたりと希望に沿った場所を提供している。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員はミーティング等を通して日頃からお互いに確認し合い、身体拘束をしないケアに努めている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 必要に応じ夜間等玄関に鍵をかけているが居室の鍵はかけていない。日中散歩に行かれたり、日光浴に出て行かれる場合等自由に出入りができるよう鍵だけでなくドアも開けばなしにして出入りし易いように配慮している。  (外部評価) 日中は玄関の鍵はかけず自由に出入りできるようにしており、一人ひとりのその時々行動を把握しながらさりげなく見守り、支援している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中夜間を問わず、利用者の状況確認は行っており、記録等事務作業も利用者と同じ空間で行っており、常に見守りを優先している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者の状況に合わせて最善の保管管理を行っている。一律に鍵をかけて保管や管理をしてしまわないようにしている。利用者がハサミなど使用される場合は必ず見守りを行っている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人ひとりの心身の状態から予測できる危険を、ミーティングや毎日の申し送りにて常に検討しており、事故を未然に防ぐ工夫をしている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 日頃から万一来に備え、管理者やリーダーが中心となり、急変や事故発生時の応急手当や初期対応の指導を行っている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消火器の使い方の訓練や避難路の確保、消火設備等の定期的な点検が行われている。また、緊急時の連絡体制がとれている。  (外部評価) 年2回、消防署の協力を得ながら定期的に避難訓練を実施しているが、夜間を想定しての訓練はまだ実施していない。当ホームは災害時の避難所の指定を受けており、地下水、電気類、備蓄等の検討もしている。地域との協力体制はできており、避難訓練も実施している。	※	地域との協力体制は検討されているが、訓練を積み重ねてさらに具体的なものとなるよう取り組みを継続することを期待する。また、夜間を想定した訓練にも取り組み、ホームが災害時に対応できる状況について地域に広報することも期待したい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 利用者に起こるリスクについては、入居前・後を問わず状態の変化ごとに常にご家族に説明が行われており、対応策を話し合い理解を得られるように努めている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 一人ひとりの状況を毎日のバイタルチェックや観察・見守りにより把握しており、変化があればすぐに管理者に報告するような体制になっている。また申し送りや気付きノートを通し、全職員が情報を共有し重度化しないように対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬表や申し送りを通して、全職員が薬の内容や服薬方法他、内容の理解を行っている。服薬による症状の変化は常に申し送りされている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 日中、食事やおやつの内容を考えて提供を行っている。また、日中少しでも身体を動かすよう声かけを行い入眠前には温かい牛乳を飲んで頂いており、できるだけ自然排便を促している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアの声かけを行い、介助を必要とされている人には職員が支援している。義歯の方は入眠前に義歯をお預かりし薬での洗浄も行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) カロリー計算された食事の提供、食事量の記録を行っており、必要な栄養が摂れている。また、必要な方には水分摂取量の記録を行っている。  (外部評価) メニューは専門の業者の栄養士が作成している。食事及び水分摂取量、摂取状況等を記録に残し、体調や体重のチェックと共に見直している。おやつの時なども利用して、適切な水分摂取に努めている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 事業所内で起こり得る感染症について、細かくマニュアル化されており、全職員で学習して予防と対策に努めている。インフルエンザの予防接種やノロウイルス対策のペーパータオル・消毒液、専門業者による清掃と消毒も行っている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 毎日の台所の水周りや包丁・まな板他の調理器具の掃除と消毒、食材の賞味期限の確認の徹底等、食中毒の予防のための対応を毎日継続して行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 駐車場や玄関に常に花や植物を置き季節感を演出したり、毎日、整理整頓・清掃を行い、気持ちよく入りやすい雰囲気作りを心がけている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 利用者にとって居心地のいい家具の置き場や装飾には工夫や配慮をしている。できるだけ季節感を感じられる装飾をしたり季節の花を飾るよう常に心がけている。  (外部評価) 採光や風通しが良い、ゆったりした敷地にあるホームのため、窓からの自然の風景や音で季節感を味わうことができる。トイレ、浴室、洗濯室、廊下等の使い勝手もよく、手すりも配置されている。広いソファのコーナーもあり、思い思いの場所で落ち着いて過ごしている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ホールにはソファや花を置き、いつでもくつろげるスペースをつくっている。一人でのんびり景色を眺めたり、利用者同士テレビを見ながら談笑されたり出来るようにソファの配置も工夫している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 本人が居心地よく暮らせるよう、家具や身の回りの品は日頃から使い慣れている物を持ち込んで頂き、使って頂けるよう配慮している。また、新しく購入される場合も本人の好みや能力に応じて家族様と相談し、居心地よく過ごせるように支援している。  (外部評価) 仏壇、テレビ、家族の写真、机、収納家具、趣味の作品等を個性的に配置しており、利用者ごとの個性を感じられる居室となっている。居室入り口にも暖簾や目印となる表示を工夫している。家族の協力を得ながら季節の衣類の交換や押入れの整理等もしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 室内の換気には気を配り、できるだけ窓を開け外気を取り入れ自然の風や温度を感じて頂くとともに、利用者の状態や反応を見ながらこまめにエアコンを使用して温度調整をしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) トイレ、ホール、洗面所、浴室等自立と安全確保を考えながら、利用者の身体的状況に合わせ手すりや滑り止めなど工夫がされている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 環境による混乱や失敗にはその都度本人の不安を取り除くよう声かけを行い、傾聴して原因を探り職員全員で考え環境整備を行っている。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 庭やベランダには花や植物・野菜を植えるスペース確保を行っており、日常的に利用者が楽しみながら活動できる環境をつくっている。気候が穏やかで天気の良い日には、ベランダで日光浴も行っている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	入所前、また入所後も十分な話しや日頃のコミュニケーションを通して、利用者の意向をつかむよう努めている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	午前・午後ともおやつの時間を設けており、お茶を共にしながらのんびりとお話ししたり、一緒にアクティビティなどを行い、ゆったりとした時間を毎日過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	タイムスケジュールのようなものもなく、一人ひとりの状況や利用者のペースや暮らし方を尊重し生活している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員と共に買い物に出かけたり、散歩に出かけると笑顔多くいきいきと話しをされている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家族様の協力も得て、できるだけ個別に希望の所へ出かけて行けるよう支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のバイタルチェックや食事量・水分摂取量の記録を行い常に提携医療機関との連携が密にとれており、何かあればすぐに対応が出来る。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の状況や要望には、可能な限り柔軟に支援を行うよう努めている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族の訪問時、又は必要に応じ電話にて利用者の状況説明だけでなく家族の要望や思いも十分に聞いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	理容師、ご近所の方、昔からの友人等継続して訪問して頂いている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議を通し、グループホームに初めて訪れた地域の方が多く理解者が確実に増え、興味を持って参加されている方も多く、応援者も増えている。
98	職員は、活き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	明るく笑顔で利用者と接し、管理者による押し付けの介護ではなく、職員一人ひとりが自分で考え、これでいいのか？常に問題意識を持って働いている。職員同士が意見を活発に言い合っている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の意向を十分に聴いていることもあり、一人ひとり笑顔もよく見られ満足が感じられる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族よりの希望や要望にはすぐに対応を行っており、感謝の言葉を頂いている。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

一人ひとりの性格や暮らしのリズムを尊重し、押し付けられた暮らし方ではなく「どうしたいのか?何を求めているのか?」を常に考えながら、利用者主導の過ごし方暮らしが出来るよう、利用者の立場に立った支援を行っている。また、その人らしい生き方が出来ることで、会話や笑顔も増える事を日々の目標とし、職員全員が同じ思いで利用者と接している。